



たくさんのご協力、 誠にありがとうございました！

45年ぶりにやってきた「いきいき茨城ゆめ国体」。全国トップレベルのアスリートたちが茨城県に集まり、下妻市でも熱い戦いが繰り広げられました。この特集は、郷土の代表としての誇りを胸に戦い、友情を育んだ選手たちと、多くの市民の皆さんに支えられた大会の記録です。

▼ソフトボール競技 茨城県代表 / 少年女子 5位入賞

準々決勝では、2位入賞となった強豪福井県と対戦。久保田、磯山の両投手が好投するも、1点が遠く0対4で敗退し、5位入賞となりました。



▲ソフトボール競技 茨城県代表 / 少年男子 5位入賞

初戦（対新潟県）は5回に飯塚選手の二塁打を含む集中打で8対1と逆転コールド勝利。準々決勝（対宮城県）は中盤まで1点を争う展開も、終盤に突き放され2対6で敗退し、5位入賞となりました。



▲優勝した長崎県代表 / 少年女子（左）と、高知県代表 / 少年男子（右）



ソフトボール教室

▲指導をする宇津木さん

9月29日の試合終了後、千代川運動公園野球場にて宇津木妙子さん（元女子ソフトボール日本代表監督）らによるソフトボール教室が市内・県西地区中学校の女子ソフトボール部員約100名を対象に開催されました。予定の時間を超えての熱い指導に、参加者たちは「わかりやすく面白いです。真剣な指導になると一瞬で空気が変わるすごさがある。」と、熱いまなざしで指導を受けていました。



これ以上ない、経験。

「人生で一番緊張した。練習どおりの投球ができず悔しかったが、これ以上ない経験ができた。高校に入ってからもソフトボールを続けたいと思っているので、次は国体のマウンドに選手として立っていられたら嬉しい。」（右：始球式を務めたピッチャーの小島さん）



始球式

▲柳原球場の様子

大会初日（9月29日）には始球式が行われ、大会に華を添えました。
▽砂沼球場 菊池市長
▽柳原球場 下妻中学校3年生 寺田洋介さん・大島碧流さん
▽千代川運動公園野球場 原部市議会議員 千代川中学校グラウンド 下妻中学校3年生 小島咲月さん・上野夢奈さん

令和最初の国体を皇族の方も観戦



彬子女王殿下を迎える千代川中学校の生徒たち



競技会場へ向かわれる彬子女王殿下



競技を御覧になる彬子女王殿下

大会二日目（9月30日）には、三笠宮彬子女王殿下が千代川運動公園野球場で競技を御覧になりました。

一茨城国体を終えて一

このような素晴らしい競技会が開催できたのも、ひとえにソフトボールを愛し、郷土を愛し、国体の成功を願いながら影で支えてくれた方々がいたからこそです。最高の仲間と共に活動出来た事に感謝申し上げます。今回の国体招致が下妻市において大きな財産となり、小学生、中学生、高校生、社会人への未来を繋ぐ大きな第一歩となりました。今後はこの灯を消さず、経験を活かし、スポーツ精神を重んじ、学校関係者、各スポーツ団体の皆さまと共存共栄を図り、スポーツの活性化を目指し、市民皆さんと楽しく、交流を通じて盛り上げていければと切に願っております。



下妻市ソフトボール連盟
会長 高村 恵多さん

下妻市民の皆さん、この度は茨城国体ソフトボール競技（少年男子・女子）の競技会運営にご協力頂き、心より感謝申し上げます。市内小中学校の児童生徒、各地区の皆さん、各団体の皆さんによる熱い応援は勿論、おふるまいコーナー等、各担当のスタッフの皆さんによる市を挙げての心温まる思いが、全国から参加したチームの皆さんへ伝わった事を実感すると共に、今競技会が晴天の中、大成功に終わる事が出来たことを、とてもうれしく思います。チームの選手達が喜びに満ち溢れ、ベストを尽くし全力でプレーする姿と、観客の皆さんとの一体感が印象的でした。また、球場スタッフや高校生ボランティアのご尽力が素晴らしい試合へと導いてくれました。

9月29日から10月1日の3日間にわたって開催された「いきいき茨城ゆめ国体」ソフトボール競技会。約1万2千人が下妻市を訪れ、優勝は少年男子の部が高知県、少年女子の部は長崎県となりました。厳しい予選を勝ち上がり郷土の代表として出場した選手たち。勝利の瞬間、喜びを爆発させる選手たちの傍らで悔し涙を流す選手たちの姿に、観客は惜しみない拍手を送りました。